

平成 16 年 9 月 1 日 発行

●発行／長野県東御市
●編集／東御市役所総務部企画課
●TEL (64) 5806 FAX (63) 5431
●印刷／東鉄印刷機

〒389-0592 長野県東御市 28-1-2
E-mail shino-tomi@city.tomi.nagano.jp
http://www.city.tomi.nagano.jp/

人の動き

(8 月 1 日現在)

世帯数

10,923 世帯(-6)

総人口

32,202人(-6)

男 15,846人(-17)

女 16,356人(+11)

転入 113人(-20)

転出 122人(-18)

出生 23人(+ 7)

死亡 20人(+ 4)

※カッコは 7 月対比



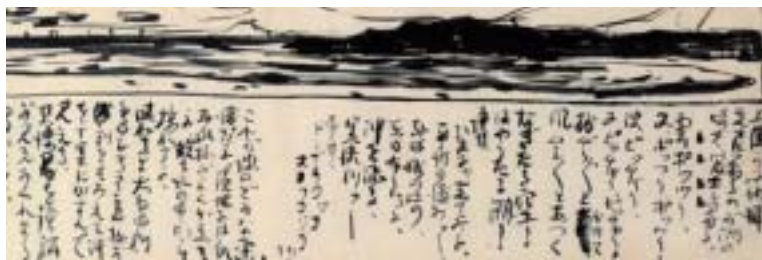
絵は心の恋人探し その5

え いり しょ かん 絵入書簡(紙墨) あお き しげる 青木 繁 作

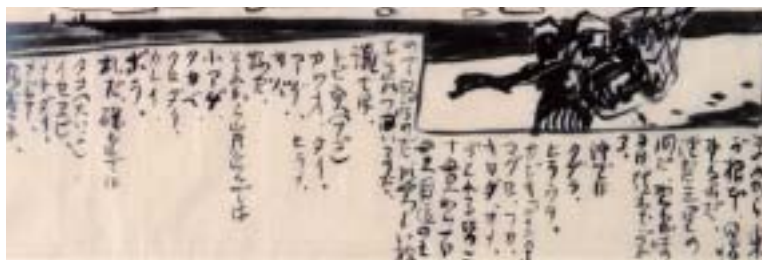
今年3月、樹二玄社発行の「芸術家・文士の絵手紙」に編者の小池邦夫氏は、この青木繁の手紙について次のように書いています。
【書画一致の絵手紙】
あるデパートで青木繁の回顧展が開かれた。代表作の「海の幸」にも驚いたりしながら見つけたものであった。出品の近くに横長な黄色の紙に筆で書かれた手紙があった。海や雲や山が一筆で描かれていた。洋画家なのに、毛筆で実に自由に伸び伸びと魚の名前など次々と描かれている。これぞ書画一致だと思わずにはいらなかった。文章を読むと、さらに魅力が加わる。千葉の布良【めら】という海の実況放送をしているような、響きのある文章が打ち寄せてくる。梅野満雄宛のものである。私には、青木繁と梅野満雄の合作に違いあるまいと思えた。梅野さ



ここは万葉にある「女良(めら)」だ 一 中略 上古に伝わらない人間の歴史の破片が埋められていたに相違ない



童謡 ひまにや来てみよ 平沙(へいさ)の浦わア、西は州の崎 東は布良よ 沖を流るる黒瀬川ア サアサ ドンブラッコ スッココ



沖ではクジラ、シラウオ、カジキ(ハイホのこと)、マグロ、フカ、キワダ、サメが捕れる。灘(なだ)ではと続く



それから浜磯では、モクヅ、モク、アラメと海草 貝殻の名が続く

んだからこそ青木繁さんはこんな自由な生き生きとした手紙を書きたくなるのだらう。相手なしには手紙を書くことは出来ない。絵の技術や手紙の文章の巧拙なんかよりも、書きたい気持ちにさせる相手がいた。相手はたった一人である。一人ではあるが、他の誰よりも変えられない一人である
※ ※ ※
この絵は青木繁が明治36年東京美術学校卒業の年、坂本繁二郎、森田恒友、福田たねと房州布良に遊び、東京の下宿にいた梅野満雄に宛てたものです。「今は少々製作中だ。大きいモデルをたくさん使っている。いずれ東京に帰ってからご覧に入れるまでは黙っておこう」と書いているのは、「海の幸」のことを指しています。この書簡は梅野記念館へ寄託品として当館に常陳しています。

編集後記

▼4年に一度の祭典、今回はアテネでのオリンピックが行われました。多くの皆さんがテレビ、新聞などで大いに興奮されたことでしょう。生中継でみられた皆さんは、本当に眠い目をこすりながらテレビ観戦したことと思います。▼日本の金メダル獲得数は15個です(8月24日、17時現在)。過去最高の金メダル獲得数は、東京オリンピックの16個。あと1個で並び、2個で記録更新ですね。日本勢の力強さにこちらまで感動と元気をもらいました。▼メダルを獲得した選手に「この喜びは誰に伝えたいですか?」との間に「家族、両親」「コーチ、監督」と言葉が返ってきました。選手同様、家族共々に協力し合い、励まし合いながら闘ってきた結果からでしょう。▼今月号の有線放送コンクール記事「わたし(はく)の大切にしたい人(こと)」でも「家族」がと話す人がたくさんいました。▼家族に対する思いは、常日頃から言葉に表わさなくても、こうした発表(インタビュー)の場で気持ちが表わされるんですね。読む側も観る側もそうした気持ちに同感したり気付けられたり……。▼オリンピックを見ながら、編集しながら家族の存在を感じた日々でした。

(市報担当 柳橋)